

# ねぎにら「なかみどり」の栽培法

## 1. 試験のねらい

ねぎにら「なかみどり」は新しい作物で栽培法が確立していないことから、生産安定を図るため施肥量、栽培密度、収穫時期および定植方法などについて検討した。また、増殖は栄養繁殖のみであることから親株の効率的な生産方法も併せて検討した。

## 2. 試験方法

- (1) **施肥量**：三要素とも成分でa当たり3、4、5kgを基肥で全面全層施用（BBニラ専用肥料）した3処理区を設けた。いずれの処理区も平成8年4月25日に1株3本植えとして畝間40cm、株間20cmで定植した。試験は場内ほ場（表層多腐植質黒ボク土、七本桜統）で行った。
- (2) **栽植密度**：平成9年4月23日に1株4本植えとして、株間15、20、25cmの3処理区を設け、畝間はいずれも40cmとした。
- (3) **すて刈り時期**：平成9年4月23日に畝間40cm、株間20cm、1株4本植えで定植し株養成を行った後、翌年3～8月の各月20日にすて刈りを行い3回収穫した。
- (4) **定植方法**：定植の効率化を図るため、定植時に葉および根を切断した場合の影響を調査した。なお、切断は根、葉とも長さ5cm程度残して行い、平成10年4月21日に1株4本植えとして畝間40cm、株間20cmで定植した。
- (5) **増殖法**：定植本数は1本、2本植えの2処理区、株間は2.5cm、5.0cm、10.0cmの3処理区を設けて、平成10年4月21日に畝間40cmで定植し、基肥は3要素各4kg/a施用した。

## 3. 試験結果および考察

- (1) **施肥量**：生育や収量は3kg区より4および5kg区で優れ、4、5kg区間では大差なかったことから、施肥量はa当たり3要素とも成分で4～5kg程度が適すと考えられた（表-1）。
- (2) **栽植密度**：株当たり収量は株間が広い区ほど優れたが、単収は株間が狭い方が多収で、葉幅、葉厚、葉色、糖度等の品質は株間にかかわらず大差がなかった（表-2）。
- (3) **すて刈り時期**：収量はすて刈り時期が早いほど多収となり、葉幅や葉厚等の品質も優れる傾向が認められた。茎数は概ね35、36本程度であったがすて刈り時期が8月ではやや少なかった。すて刈りを3月に行った場合葉幅は最大となり、すて刈り時期が遅くなるほど葉幅は狭くなった（表-3）。
- (4) **定植方法**：定植時に根や葉を切断しても、収量や生育に及ぼす影響はほとんど認められなかった（表-4）。このため、根および葉を切断することによって定植作業の効率化が図られる。
- (5) **増殖法**：1株1本植えとして、株間を10cmとすることで、翌春には茎数は約8本となり慣行法の2倍の増殖率となった（表-5）。

## 4. 成果の要約

ねぎにらの定植は4月下旬に畝間40cm、株間15～20cmで1株4本程度で行い、基肥はa当たり三要素とも成分で4kg程度を施用する。定植に当たっては、根や葉を切ると作業が効率的に行える。収穫期は1月から3月まではハウス栽培、その後は雨よけ栽培とし、すて刈りを順次行い作型をずらすことにより2月～11月頃まで生産が可能と思われた。しかし、いずれの作型においても収穫回数が進むに従って収量が減少するため、追肥や灌水方法等について今後さらに検討する必要がある。また、増殖は、株間10cm、畝幅40cmの1株1本植えとすることで、増殖率が慣行の2倍となり効率的に増殖できる。

（担当者 野菜研究室 手塚弘恵）

表 - 1 施肥量が収量・品質に及ぼす影響（平成8年度）

施肥量 (kg/a)	収量(g/株)				a 当たり 収量 (kg)
	1回目	2回目	3回目	合計	
3	159	160	178	497	438
4	177	175	187	540	475
5	180	169	185	535	471

注．ハウス保温およびすて刈りは平成9年1月7日。

表 - 5 定植本数および株間が増殖率に及ぼす影響（平成10年度）

定植本数	株 間 (cm)		
	2.5	5.0	10.0
1本	3.6%	5.6	8.2
2本	2.9	3.7	5.2

表 - 2 栽植密度が収量・品質に及ぼす影響（平成9年度）

株 間 (cm)	収量(g/株)				a 当たり 収量 (kg)	葉長 (cm)	莖数 (本)	葉幅 (mm)	葉厚 (mm)	葉色 (SPAD)	糖度 (Brix)
	1回目	2回目	3回目	合計							
15	124	91	76	291	342	41.2	27.1	6.4	0.72	56.9	6.1
20	134	109	78	321	283	40.9	31.6	6.4	0.69	59.9	6.1
25	146	132	87	364	257	41.7	38.1	6.3	0.67	58.4	6.4

注1．ハウス保温およびすて刈りは平成10年1月12日。

2．栽植株数は15cmが1174株/a、20cmが880株/a、25cmが704株/a。

表 - 3 すて刈り時期が収量・品質に及ぼす影響（平成9年度）

捨て刈り 時 期	収量(g/株)				a 当たり 収量 (kg)	葉長 (cm)	莖数 (本)	葉幅 (mm)	葉厚 (mm)	葉色 (SPAD)	糖度 (Brix)
	1回目	2回目	3回目	合計							
3月20日(4/24)	186	154	165	505	444	45.5	36.7	6.5	0.82	58.6	5.2
4月20日(6/2)	152	145	117	414	364	45.7	36.4	5.9	0.85	59.2	5.7
5月20日(6/19)	148	114	101	363	320	45.2	35.4	5.8	0.65	51.5	6.4
6月20日(7/15)	123	128	104	335	312	44.5	38.0	5.7	0.74	53.5	4.8
7月20日(8/17)	141	117	92	350	308	44.6	35.0	4.9	0.66	55.4	5.0
8月20日(9/25)	130	111	85	326	287	44.4	31.5	4.9	0.56	52.7	4.8

注1．( )内は収穫開始日。

2．3月20日区はハウス栽培。

表 - 4 定植方法が収量・品質に及ぼす影響（平成10年度）

処 理		収量(g/株)				a 当たり 収量 (kg)	葉長 (cm)	莖数 (本)	葉幅 (mm)	葉厚 (mm)	葉色 (SPAD)	糖度 (Brix)
葉切	根切	1回目	2回目	3回目	合計							
有	有	143	82	108	333	293	41.2	23.1	5.7	0.87	52.9	6.8
有	無	143	82	112	337	297	41.1	18.4	5.8	0.86	55.6	7.3
無	有	132	95	108	335	295	41.9	20.9	5.9	0.87	51.8	7.3
無	無	143	84	125	352	310	41.5	22.9	5.6	0.93	55.9	7.1

注．ハウス保温およびすて刈り時期は平成11年1月11日。